

あったか～だがしや楽校・山形県酒田市発

にちじ：2010年3月5日～6日 10:00～16:00

ばしょ：かんぼの郷 酒田 スワンドーム

《はじめに》

だがしや楽校だがしや倶楽部による“あったか～だがしや楽校”を開きました。

“あったか～だがしや楽校”とは“あったか体感フェア”というイベントの中での“だがしや楽校”であることから筆者（山口）が名付けました。

だがしや楽校だがしや倶楽部では、“だがしや楽校”を取り入れたい・活用したい人や、“だがしや楽校”を開きたいという人たちに対して、レクチャーやサポートするなど、“だがしや楽校”を広める活動を行っていますが、この“あったか～だがしや楽校”は、ひとりでも多くの地域の方々に“だがしや楽校”の楽しさを体感していただき、“だがしや楽校”を普及・浸透することを目的に開きました。

“あったか～だがしや楽校”は、山形大学農学部と鶴岡工業高等専門学校の学生さんに“だがしや屋台”（おみせ）を出してもらうなどの協力をいただきながら開きました。

それでは、“あったか～だがしや楽校”の模様をご紹介します。

2日間とも、ほぼ同じ屋台（おみせ）ですが、一部異なりますので、日ごとにご紹介します。

2011年3月5日（土曜日）山形県庄内地方の天気：晴れ時々曇り

【あったか～だがしや楽校・1日目】

屋台（おみせ）ごとにご紹介します。

▼冬芽クイズ・・・山形大学農学部・サークル森の民



冬芽が付いた枝の見本。その木の名前を当てるクイズです。見本は6つ。1～6の番号が付い

できます。答えはブナ・コナラ・オニクルミ・ヤマウルシ・ミズナラ・ホオノキから選びます。見本だけでは分からない時には、学生さん手作りの図鑑を見て調べます。



きょうは親子でクイズに挑戦する風景がたくさん見られました。お絵描きだけでも遊べるおみせです。

▼ブラバン（アクセサリー作り）



“だがしや楽校”でもお馴染みになったブラバンです。好きな絵を自由に描くことができる楽しいおみせです。



レンジの中でプラスチックが変化する様子に、ビックリする親子の風景もありました。

▼環境カルタ・・・山形大学農学部



山形大学農学部の学生さん手作りの“環境カルタ”。絵札は“ぬりえ”のように好きな色で塗ってもらいます。

出来上がったら、みんなでカルタ大会！！



文言は環境・エコをテーマにしていますが、カルタ大会では激しい？争奪戦！！



大会は2回行いました。文言の最初の一文字を読まないで絵札を探す特別ルールまで登場。

▼パステル画



こちらもお馴染みパステル画のおみせです。



綿だけでなく、指で描いても良いんだよ！ なんでもありのパステル画です。

▼かえっこコーナー（こどもハローワーク）

お家で要らなくなったおもちゃを持ってくると、ほかのおもちゃと“かえっこ”ができます。



“こどもハローワーク”で、5分間おもちゃ整理のお手伝いをしますと、おもちゃがもらえます。おやおや、おばあちゃんが“こどもハローワーク”にエントリーしました。なんでもありの“だがしや楽校”では、もちろんOKです。



▼アテクジ

屋台（おみせ）で遊んだら、駄菓子屋さんでアテクジができます。



冬芽クイズで全問正解したり、カルタ大会で優勝したりすると、2回アテクジができます。



“あったか体感フェア”の総合司会のお姉さん（佐藤和香子さん：酒田FMハーバーRADIO）

〇)に“カルタ大会”の案内アナウンスをお願いしました。また、バルーンアートのお姉さんには駄菓子屋さんを手伝っていただきました。



2011年3月6日（日曜日）山形県庄内地方の天気：雨一時みぞれ 日中曇り時々小雨

【あったか〜だがしや楽校・2日目】

きょうも、屋台（おみせ）ごとにご紹介します。

▼かえっこコーナー（こどもハローワーク）



きょうもたくさんのお子さんが“子ども店長”となってお手伝いしました。中には長い時間をかけてバラバラになっていたパズルを再現してくれたお子さんもいました。

▼ブラバン（アクセサリ作り）



きょうも大人気です。お子さんよりおかあさんが楽しんでいる風景も見られました。



レンジの中では何が起きているのかな・・・

▼冬芽クイズ・・・山形大学農学部・サークル森の民



きょうはクイズに挑戦する大人の人たちがたくさんいました。世代を越えたコミュニケーションです。



右の写真は、採点で全問正解となった時の様子です。

▼手回し発電機で遊ぼう・・・鶴岡工業高等専門学校・環境ボランティアサークル



手回し発電機で、電球を点灯させたり、風車を回したりします。



ここでも、世代を越えて、手回し発電機に挑戦する風景が見られました。

手回し発電機で風車が回ることを応用して、風ボーリング遊びが登場しました。ポップコーン用の紙コップをいただき、即席のピンを作り、そこに風を当てて・・・倒れるかな。



これが意外に倒れます！！ これもちょっとしたアイデアです。

ここで“あったか〜だがしや楽校”の隣りで行われたステージイベントをご紹介します。

《ともとのガラクタ音楽会》

“ともとも”こと、山口ともさん（打楽器奏者・写真家）による廃品（ガラクタ）による演奏会です。

山口ともさんは、東京都生まれ。祖父の山口保治氏は、「かわいい魚屋さん」「ないしょないしょ」など数々の童謡を創った作曲家。父の山口浩一氏は新日本フィルハーモニーのティンパニー名誉首席奏者です。

2003年4月から2005年3月までNHK教育テレビで放送されていた“ドレミノテレビ”をはじめ、テレビにも多数出演しています。



ステージのパフォーマンスの後は、新聞紙やペットボトルで作ったマラカスを使って、お客さんといっしょに大パフォーマンスです。



その山口とむさん、ステージパフォーマンスのあと、子どもたちといっしょになって、冬芽クイズに挑戦です！！

▼環境カルタ・・・山形大学農学部



きょうも2回やりました環境カルタ！ 熱戦？が繰り広げられました。

▼アテクジ

きょうも屋台（おみせ）で遊んだら、駄菓子屋さんでアテクジができます。



“あったか体感フェア”全体を見ますと、時間帯によっては、お客さんがほとんどいない時もありましたが、“だがしや楽校”だけは、なぜか人が集っているという別世界のような感じにも見えました。それだけ“だがしや楽校”には魅力が秘められているのでしょう。

冬芽クイズのおみせを出した山形大学農学部の学生さんは、子どもたちへ自分たちの大学を紹介しては「入学してね～」と誘っていました。これぞ『自分みせ』です。

遊んでいる内に新たな遊び“風ボーリング”が生まれた鶴岡工業高等専門学校のおみせ。「なんでもあり」「創意工夫」がキーワードでもある“だがしや楽校”の真価が発揮されたシーンでした。

お子さん・お子さんのご家族だけでなく、様々な年代の地域の方々が“だがしや楽校”でのひとときを楽しんでいきました。年齢・性別・立場・国籍・障がいの有無に関係なく、『自分をみせ

る』ことで、みんなが集い・交流し、人と人とのつながりを深めるという“だがしや楽校”らしい風景がたくさん見られました。

実は会場、寒かったんです。“あったかだがしや楽校”と言いながら……。

室内ですが、気温は外とほとんど変わりませんでした。ですから、皆さん厚着しているのです。でも、写真だけ見ると、寒さを感じません。寒くても、やっぱり“あったかだがしや楽校”でした。

企画・制作・編集・文責

山口充夫

だがしや楽校コーディネーター